

送辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、徐々に春の暖かさが感じられ、いよいよ春も近づいてまいりました。

かくも佳き日に卒業生の皆様が、ご卒業を迎えられましたことを、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

高志高校に入学なさってから早三年が経ちますが、先輩方はこの高校生活をどのように振り返っておられますか。日々の学習や部活動、研修旅行や課題研究、そして学校祭。多くの思い出が駆け巡っているのでは

ないかと思えます。

何事にも精力的に活動していた先輩たちの姿は、私達
の目にも焼き付いており、先輩方との思い出が次々と
蘇ってきます。特に、先輩方と多くの時間を共にした
学校祭が印象的です。

様々な催し物があり、大いに盛り上がっていた文化祭。
競技や応援、作り物を通して、自軍の勝利のために結
束した体育祭。今年度は、感染症流行の影響で、規模
や期間が縮小されて行われた中でも、一人ひとりが自
分の役割を果たし、多くの笑顔に包まれていた先輩方
の表情を、今でも忘れることができません。

学習の面では、大学入試に向けて、自習室や図書室で、
時には眠そうにしながらも、目をこすり自分を励ます
ように、夢に向かって一生懸命に精進している姿を見

て、日々努力を積み重ねることの大切さを、学ぶことができました。

このように学校生活を送られてきた先輩方の青春時代は、順風満帆に見える一方で、部活動の大会や学校行事、受験などでのプレッシャーに苦しみ、息の詰まるような思いを経験した時期もあったことでしょう。

また、この一年間は世界が感染症の脅威にさらされ、日常生活だけでなく、学校生活にも多大な支障をきたし、日常的な生活様式や業務形態などの面で、変革を求められる世の中となってきました。

しかし、「かんなん 艱難、なんじ 汝を玉たまにす」という言葉があります。

先輩方が高志高校で得た様々な経験こそが、先輩方を支える糧となります。そして、この学校でめぐりあえた友人や先生方の存在が、一生の財産になります。

そして、多くの苦難を乗り越えて、今日の卒業という一つの通過点を迎えられた先輩方の背中には、私たちが在校生の誇りであるとともに、今なお私たちが直面している逆境に立ち向かうための大きな希望となります。

どうか、本校の校訓である「克己・創造・敬愛」の理念を忘れずに、高い志を持ち、新たな世界でもご活躍ください。私たちが在校生は、これまで先輩方が築き上げてきた伝統を受け継ぎ、この高志高校をより良い学校へと発展させていきます。

最後になりますが、卒業生の皆様のご健康と、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げ、送辞といたします。

令和三年三月二日

在校生代表 勝岡中